

ヨコハマ * プロジェクト
Tsunagari
Walk
in YOKOHAMA
2023

開催報告書

CONTENTS

- ヨコハマプロジェクト概要
- ツナガリウォーク開催概要
- イベントのコンセプト
- 開催結果
- 当日の様子
- 最後に...

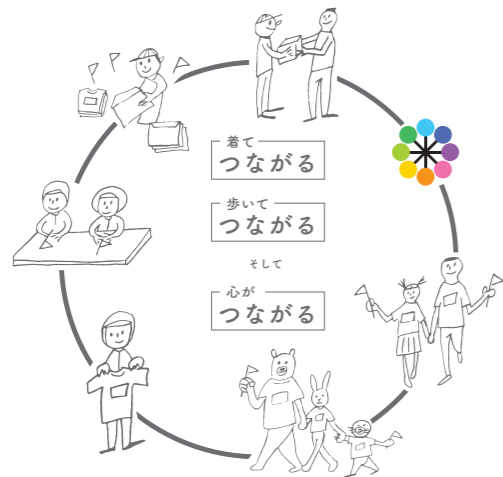


団体概要 -ヨコハマプロジェクト(YPJ)-

ヨコハマプロジェクトは、ダウン症のある人を知るイベント開催をきっかけに発足した、「多様性」をコンセプトに活動する団体です。私たちは、障がいのある人もない人も、互いを認め合い、ともに力を発揮できる社会づくり、そして、逆境を成長につなげられるレジリエントな社会づくりへの貢献をめざし、横浜を拠点に活動しています。

ふれあい・交流事業

障がいの垣根を超えて、相手とつながることを目的とした事業です。



ツナガリウォークってなあに?

「障がいのある人も、ない人も同じ体験を通してお互いを知る」をコンセプトに年に一度開催されるウォークイベントです。ワークショップやダンス、音楽、ジャポン玉子どもから大人まで楽しめます♪みんなで遊びに来てね!



情報伝達事業

ダウン症のある方の子育てや関わりを情報面からサポートする事業です。



ダウン症のある暮らし

妊娠中、子育て中、毎日の暮らしの中で「見てみたい」「知りたい」とふと思った時、手に取ってほしい冊子です。

おうちくらしのーと

緊急事態宣言後の急激に変化した社会。コミュニケーションに配慮が必要のある方とご家族を応援するコンテンツです。

ダウン症のある暮らし



おうちくらしのーと



学び合い事業

ダウン症における国内外の良好事例を学ぶ活動を行う事業です。



随時開催

口腔ケアフォーラム
お口の健康から全身の健康を考えるフォーラムです。毎回テーマを変えて開催しています。(2019～)

終了活動

ステファニー・メレディス氏
初来日特別講演会(2016)
ブライアン・スコットコ医師
特別講演会(2017)(2020)



開催にあたり、ケネディ米国外使(当時)よりスペシャルメッセージが寄せられるほど定期的な講演会となりました。

2016開催



医師であり、きょうだい児という立場でもあるスコットコ先生。講演会には、幅広い層の方々が話に耳を傾けていました。

2020開催



神奈川県立歯科大学全身管理医歯学講座障害者歯科さんと「ダウン症候群の口腔から全身の健康を考えるプロジェクト」を開催しています。

2023 7/3 開催予定

ツナガリウォーク2023 開催概要

項目	内容
イベント名	ツナガリウォークinヨコハマ 2023
開催日時	2023年4月23日(日) 11:30~15:30
開催場所	山下公園 (集合場所:おまつり広場) 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町279
概要	障がいのある人もない人も、お互いその違いを認め合い、共に歩み、共に創るイベント。
参加費	無料
主催	一般社団法人 ヨコハマプロジェクト
共催	神奈川県 ともなふまいる! #
協賛	デル・テクノロジーズ株式会社/エニタイムフィットネス/株式会社オグラ/認定NPO法人アークシップ アート印刷株式会社/イベンタ株式会社/えがこう!/株式会社メディック/LLCマトリクスK(順不同)
後援	神奈川県教育委員会/社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会/横浜市教育委員会/横浜市健康福祉局 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会/川崎市教育委員会/相模原市教育委員会/公益財団法人 日本ダウン症協会 (順不同)

イベントのコンセプト

ツナガリウォーク in ヨコハマは、ダウン症のある人との出会いをきっかけに始まった、みんなで一緒に歩くイベントです。
今年のツナガリウォークのコンセプトは「自然体でつながれ!」
動くことが好きな子、のんびりくつろぎたい子、お友達と交流したい子。
それぞれが心地よいと感じられるようなイベントを目指し開催しました。



自然体でいられる優しい場所があれば、人生はきっと楽しい。

開催までの流れ



実施体制

主催
一般社団法人 ヨコハマプロジェクト

共催
神奈川県

本部
ツナガリウォーク企画運営委員会

委員長：近藤
ウォーク・お楽しみ企画：越場
ステージ：曾田
発注：沖野
広報：福田
デザイン：八巻
協賛：長谷山・越場
救護：幸坂
撮影：長谷山
会計：近藤
事務局：片野

ボランティア
撮影・救護・設営・アクティビティ・ワークショップ補助
ウォーク応援・警備

協力
舞台準備・音響・グッズ制作・特設サイト
建て看板

近藤
イベント当日、会場の様子をカメラに収めました。会場にいる全ての人たちが、揃いもそろって良い笑顔!それがツナガリウォーク!

長谷山
体調不良の方や転んでケガをしたお子様の応急措置など、イベントが安心安全な場所であるように見守りました。

幸坂
ステージのタイムテーブルの調整に始まって、当日のリハーサルから本番まで、出演者さまと密にコミュニケーションをとりながら、カラフルなステージを取り仕切りました!

曾田

沖野
ツナガリウォークを楽しむためのグッズを企画して福祉施設に依頼・発注作業を行いました! 今年のTシャツのカラーは爽やかなミントグリーン!

八巻

片野
諸々申請業務から、出店者さまとのコミュニケーションや説明会の司会etc... ツナガリウォークを総合的に取りまとめました!

開催結果

参加者数 約4000人
※出店者、ボランティア参加者を含む

参加者満足度 95%
※参加者アンケートにて「大変満足した」「満足した」の回答率

出店者数 29団体

協賛団体数 9社

ボランティア協力者数 約140人

大切にしている「3つのツナガリ」

着てツナガル



大切に
着ることで「つくる人」と「着る人」がつながり
またつくる人の「自立支援」にもなります。

「つながるTシャツ」は、障がい者の社会参加と自立支援をバックアップするブランドequalte（運営：NPO法人ディーセントワーク・ラボ）によって提供され、東京都武蔵村山市にある社会福祉法人あかつきコロニーの皆さんの丁寧な手仕事で作られています。



歩いてツナガル



大切に
障がいのある人もない人も、お互いの存在を
近くに感じながら、同じ時間と場所を歩きます。

一緒に歩く。つながって歩く。
共に歩く象徴として小さな「手旗」を作りました。
手旗は、社会福祉法人こうよう会多機能型事業所
ジャンプさんの手により仕上げていただきました。
ジャンプさんにはつながるTシャツの発送業務も
行って頂きました。



体験してツナガル



大切に
歌、ダンス、ワークショップ、健康相談…
ツナガル体験できる場所が沢山あります。

イベント会場では、出店者様の想いが詰まった
多彩なステージやワークショップ、アクティビティが
盛りだくさん！ご来場者の皆さんと「安心・安全」
につながるために、出店者様には2回の説明会
にご参加頂き、イベントへの思いの共有化を
測りました。



改めて気付く「ツナガリの形」

出会いの場所



大切に
顔を合わせて、話ができる。笑いあうことが
できる。モニター越しではなく。

ここ数年、先の見えない不安な状況の中で、私たちは
やむを得ず、沢山の事を我慢して過ごしてきました。
ツナガリウォークは“会いたい人に会える場所”
「SNSで親交を深めた人と初めてリアルでお会いする
ことが出来ました！」と嬉しそうに話してくださった来場
者様の笑顔がとても印象的でした。



福祉施設の参加



大切に
大切に作られたパンや雑貨は「買う人」の心を
和らげ、「つくる人」の思いとつながります。

今年は、神奈川県さんに共催して頂いたことで物品
販売が可能になり、4年ぶりに福祉施設の出店参加が
実現しました。
丁寧に一つ一つ手作りされた食品や雑貨を沢山の
人に知っていただき、楽しんでいただく機会を作る
ことができました。



様々な世代の交流



大切に
赤ちゃんも、子どもも、青年も。
それぞれのステージで輝いています。

ツナガリウォークの会場には、冊子「ダウン症のある
暮らし」の中に紹介されている様々なご家族が来場し
楽しんでいます。
ボランティア部員として働く姿。ダンスを踊る姿。よちよち
歩く姿。すやすやと眠る姿。
きっと「未来への希望」を実感できるはずで。



体験してツナガル



ごちゃまぜでノリノリ! ダンス

FUNSTAR

笑顔でキレキレダンス♪ チアダンス

Platinum Cheerleaders

イキイキ踊る姿に釘付け! ダンス

Dance@しんよこ

青空の下でAloha Oe♥ フラダンス

フラダンスサークル アロハグレイス

Always "Smile☺" チアダンス

横浜市立東高校チアダンス部

ツナガリの呼吸…杏ノ型 チャンバラ

SAMURAI PERFORMER Yamato

心の中を聞いて踊ろう ベリーダンス

Flow Naturally

レッツゴー Vamos!! チアダンス

Vamos チアリーディングチーム

シャボン玉でいっぱい! しゃぼん玉

シャボン玉 栗坂さん

一人でできた!を応援します 物販

スネイリーズ

抱っこで安心♥幸せ 子育て支援

NPO法人 Umiのいえ

足跡をスタンプにしよう! 支援

公益社団法人 神奈川県理学療法士会発達支援部

ボクのメガネ、カッコいい! 展示相談

子供メガネ アンファン(オグラ眼鏡店)

ミニパズルを楽しみました 展示

公益財団法人 日本ダウン症協会(JDS)

車掌さんになっちゃおう! 読み聞かせ

絵本作家 ひらぎ みつえ

お仕事って楽しいよ! 体験

一般社団法人 IKKA

鳥と友達になろう! 工作

COUSCOUS Glamping Manazuru

心のままにえがこう! お絵描き

えがこう!

誰でも楽しめるポッチャ 体験

神奈川県 共生推進本部室

くるくる風車と風になる 工作

NPO法人 ドリームエナジープロジェクト

パタカラ体操でお口健康 体験相談

神奈川歯科大学

スクワット13120回達成! 体験

エンタイム フィットネス

美味しいパン、見事完売! 販売

社会福祉法人 進和学園/サンメッセしんわ

穏やかで可愛いワンコたち 体験

アニマルセラピー ころろサポート協会

ステキな写真をありがとう 体験

Love photo 後藤京子

いいお天気で大盛況! 飲食

アンテナ be マルシェ

腹が減ってはなんとやら... 飲食

イベントフードプロ115

素晴らしい歌声に感動! ライブ

N.U.

ウォーク直前のお楽しみ♪ お楽しみ企画

ヨコハマプロジェクト

ガーランドに想いを書こう 体験

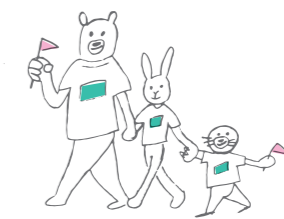
ヨコハマプロジェクト

着てツナガル



「つながるTシャツ」は着ることで、着る人とつくる人がつながり、また作る人の自立支援になることをイメージして生まれたTシャツです。

2015年の初回ウォーク時から「つながるTシャツ」によって「着る人」と「つくる人」が繋がってきました。



協力してツナガル



明るいトークで盛り上げてくれたMC MIKIさん♪



安全を見守ってくれたガーディアンエンジェルスさん



沢山のシャボン玉をありがとう!栗坂さん



個人&本人ボランティアの皆さん

参加者の声

晴れやかな気分♪

天気もよく、気温も和らぎ、大勢の来場者にきていただけて良かったです。トラブルなく終了できたのがなにより!子供たちやボランティアの皆さんの楽しそうな様子を見て晴れやかな気分になりました。参加して良かったです!ありがとうございました。



出店者Aさん

この先も続けてください!

沢山のお子さん、きょうだい、ご家族の笑顔があふれるイベントでした。参加させていただき本当に感謝です。運営は色々ご苦労もあると思いますが、この素晴らしいイベント是非続けてくださいね!



出店者Bさん

お手伝いと言いつつ…

風車を一生懸命作っている真剣な眼差しの子供達やできた風車をくると回して楽しんでいる子供たちを見て、実は癒されているのは自分ということに気づかされました。風車作りのプロにはなれた気がします。ぜひ来年も参加できたらと思っています。



ボランティアCさん

初めて参加しました!

今回初めて参加させていただきましたが、主人も私「ほっこり」した気分になり、沢山のエネルギーを頂きました。娘も「あんなに幸せになれるイベント、素敵だね」と言っていました。是非来年も参加させていただければと思います。



ボランティアDさん

モノづくりって楽しい!

“色んなクレヨンがあつたのしかった” “たのしくかいていました” “「広がる」絵がかけてよかった” “(風車が)くるくるまわってきれい!” “自由に作れて楽しい” “非日常の体験ができて楽しかった” “運転手さんの帽子を作って絵本を読んだのはとても楽しかったです”



来場者さま

支援・相談も大好評♪

“歯の矯正について詳しくきけて良かったです” “靴のサイズをみてくれてよかった” “足のスタンプが記念になってうれしかった” “足が汚れなくて子どもが楽しそうだった” “抱っこ紐を調整してもらえてよかった”



来場者さま

会計報告

収入

項目	金額	備考
企業協賛金	¥717,000	
販売	¥536,300	つながるTシャツ、ミニタオル、冊子
個人寄付	¥53,235	
当日備品レンタル代	¥82,600	
出店売上	¥83,918	
自己資本	¥22,052	
合計	¥1,495,105	

支出

項目	金額	備考
業務委託費	¥773,333	つながるTシャツ、手旗作成等
賃貸料	¥414,568	備品レンタル
広告宣伝費	¥193,840	特設サイト、アコフェス出店
交通費	¥49,510	
消耗品	¥19,430	
会議費	¥17,228	
通信費	¥14,310	
その他	¥12,886	保険料、手数料
手数料		
合計	¥1,495,105	

差引収支

合計	¥0
----	----

最後に…



一般社団法人
ヨコハマプロジェクト
代表 近藤寛子

今年、ステージもワークショップも、昨年より大幅に参画団体様が増え、晴天に恵まれ、大勢の方にご来場いただきました。おかげで盛大なツナガリウォーク in ヨコハマ 2023を開催することができました。運営に関わった全ての皆さんに深くお礼を申し上げます。これからも、障がいのある方もない方も同じ場所で一緒に体験し、楽しく過ごせるようなイベントを開催していきたいと思っています。

ヨコハマ
プロジェクト

